

# 区民アンケート（自由意見欄）

## 分析レポート

渋谷区 | 全287件 | 2026年6月

# 本資料について

本資料は、区民アンケート調査の自由意見欄でいただいた意見を、AIにより分析を行ったものです。間違った解釈による集計が含まれる場合がありますのでご了承ください。

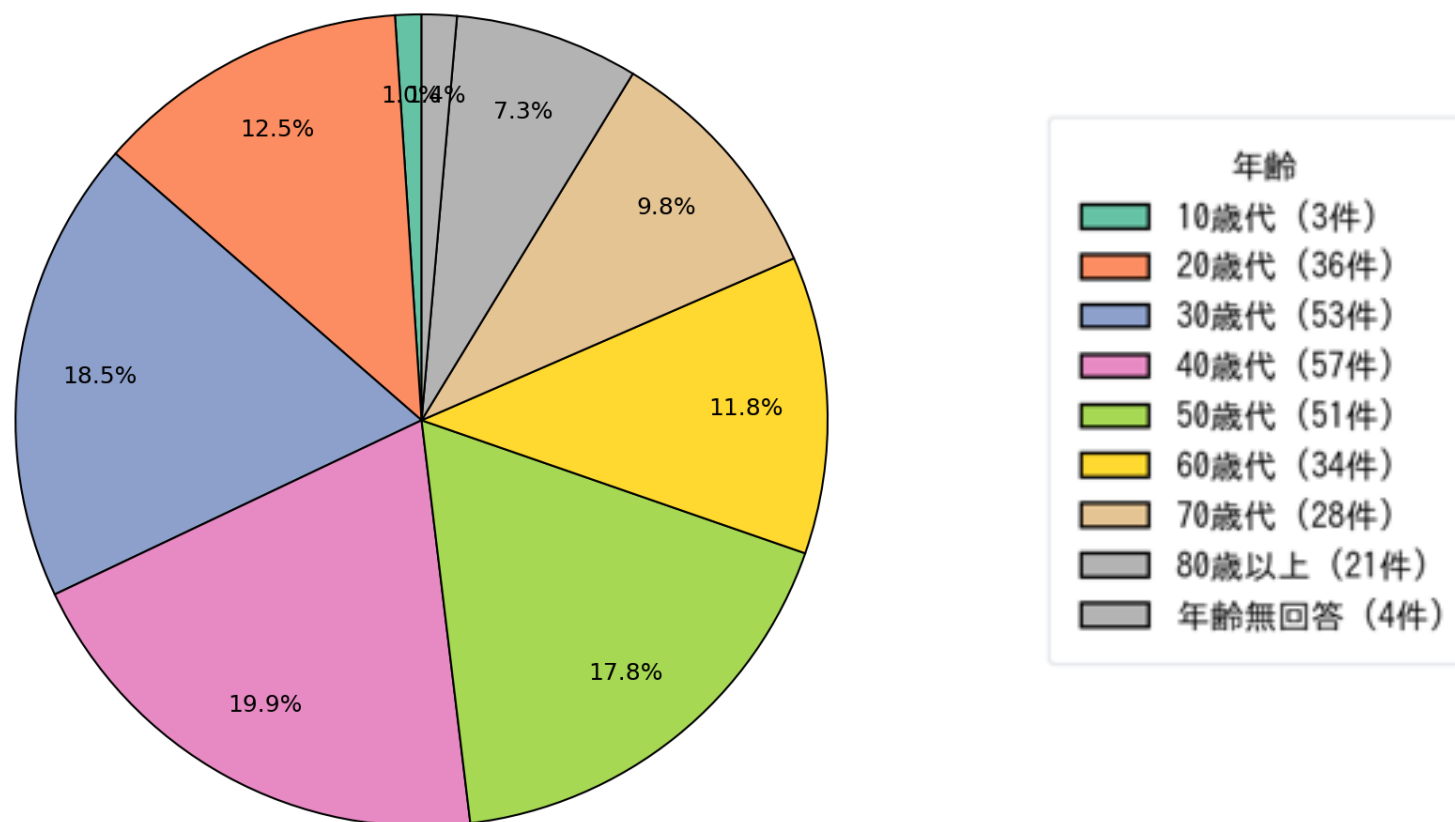


# 1. 基本分析

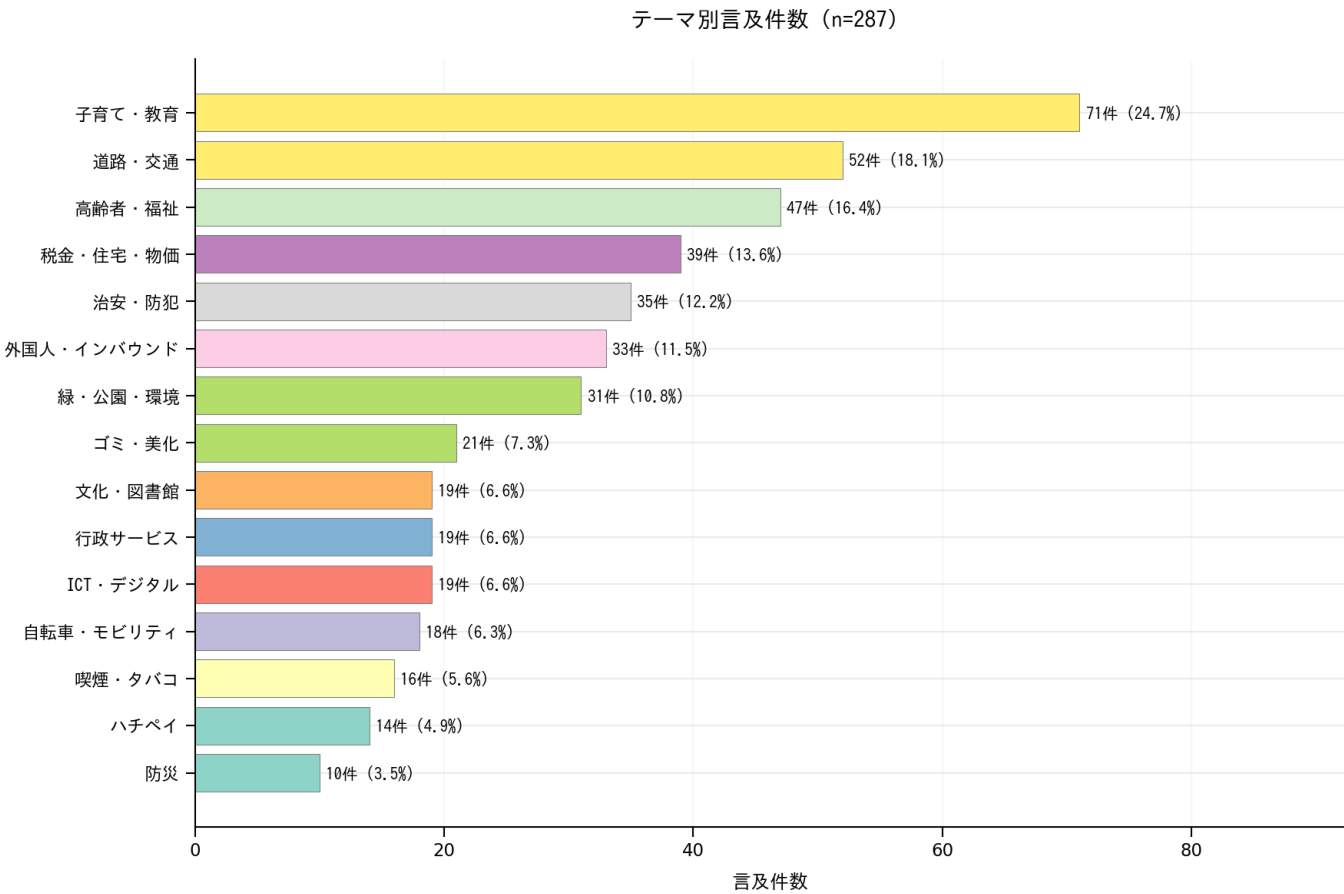
テーマ分類・属性分析

回答者は、30～50歳代が中心（30代 53件、40代 57件、50代 51件で全体の約56%）です。  
20歳代も36件（12.5%）と一定数あり、若年層の声も含まれています。

回答者の年齢分布（n=287）



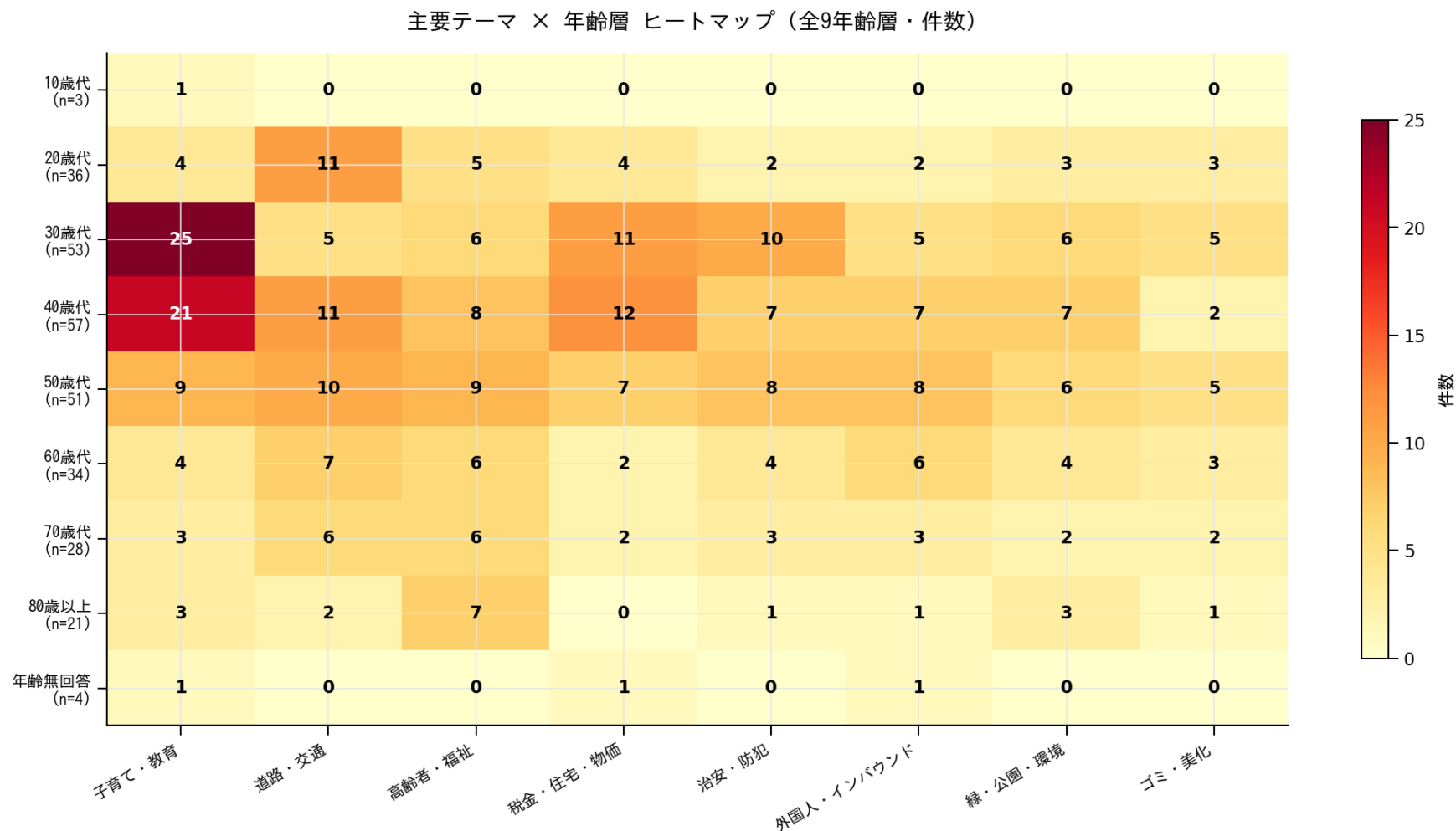
約4人に1人が「子育て・教育」に言及しており、最も関心の高いテーマです。  
一方で「外国人・インバウンド」問題も約1割の方が取り上げており、オーバーツーリズムや民泊、マナーへの不満が目立ちます。



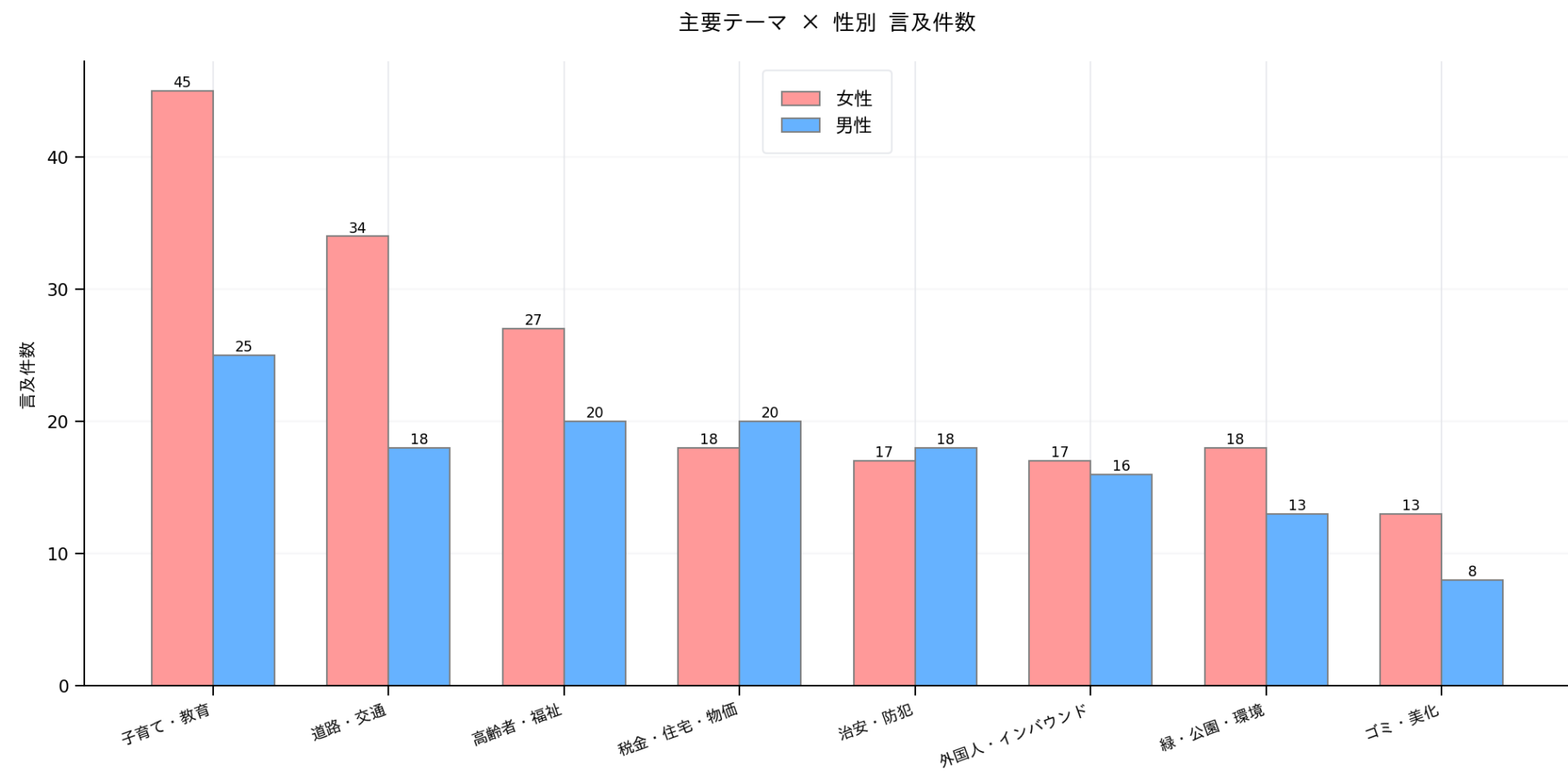
上位テーマ TOP 8：

| 順位 | テーマ        | 件数  | 割合    |
|----|------------|-----|-------|
| 1  | 子育て・子ども・教育 | 71件 | 24.7% |
| 2  | 道路・交通      | 52件 | 18.1% |
| 3  | 高齢者・福祉・介護  | 47件 | 16.4% |
| 4  | 税金・住宅・物価   | 39件 | 13.6% |
| 5  | 治安・防犯・安全   | 35件 | 12.2% |
| 6  | 外国人・インバウンド | 33件 | 11.5% |
| 7  | 緑・公園・環境    | 31件 | 10.8% |
| 8  | ゴミ・美化      | 21件 | 7.3%  |

30～40歳代は、子育て・教育と税金・住宅・物価に関する言及が多く、全体の件数の中でもボリュームゾーンとなっています。  
20歳代、50歳代では、道路・交通に関する言及が多く、60歳代以上は高齢者・福祉に関する言及が増えてきます。



女性は「子育て・教育」「治安・安全」への言及が男性に比べて多いです。  
男性は「道路・交通」「外国人・インバウンド」「税金」への関心が相対的に高いものの、総数としては女性よりも少ないです。



主要テーマごとの具体的な声（代表的意見）

 子育て・教育（71件）

ICT教育への懸念：タブレット依存による学力低下・視力低下を心配する声が複数  
保育・子育て支援の充実：ベビーシッター補助、出産支援金、家事代行補助の要望  
遊び場の不足：公園の遊具不足、ボール遊びができない、校庭開放の制限

 道路・交通（52件）

自転車・電動キックボードの危険走行への苦情が多数  
ハチ公バスの増便要望、駐輪場不足、歩道の狭さ  
渋谷駅周辺の動線のわかりにくさ

 高齢者・福祉・介護（47件）

デジタルデバイド：ICT・スマホ操作が困難な高齢者への支援要望  
シルバーパス補助、特養入所枠の拡充  
孤立防止・見守りサービスの充実

 外国人・インバウンド（33件）

オーバーツーリズム：ポイ捨て、騒音、マナー違反への不満  
違法民泊への取り締まり強化要望  
外国人居住者の増加に伴う治安・生活環境の変化への懸念

 喫煙・タバコ（16件）

路上喫煙の取り締まり強化、喫煙所の配置見直し（特に恵比寿駅前・原宿駅前）

 税金・住宅・物価（39件）

住宅費（家賃）の高騰で区外転出を検討する声  
物価高に対する独自の減税・還元施策の要望  
ファミリー層が住み続けられる住宅支援



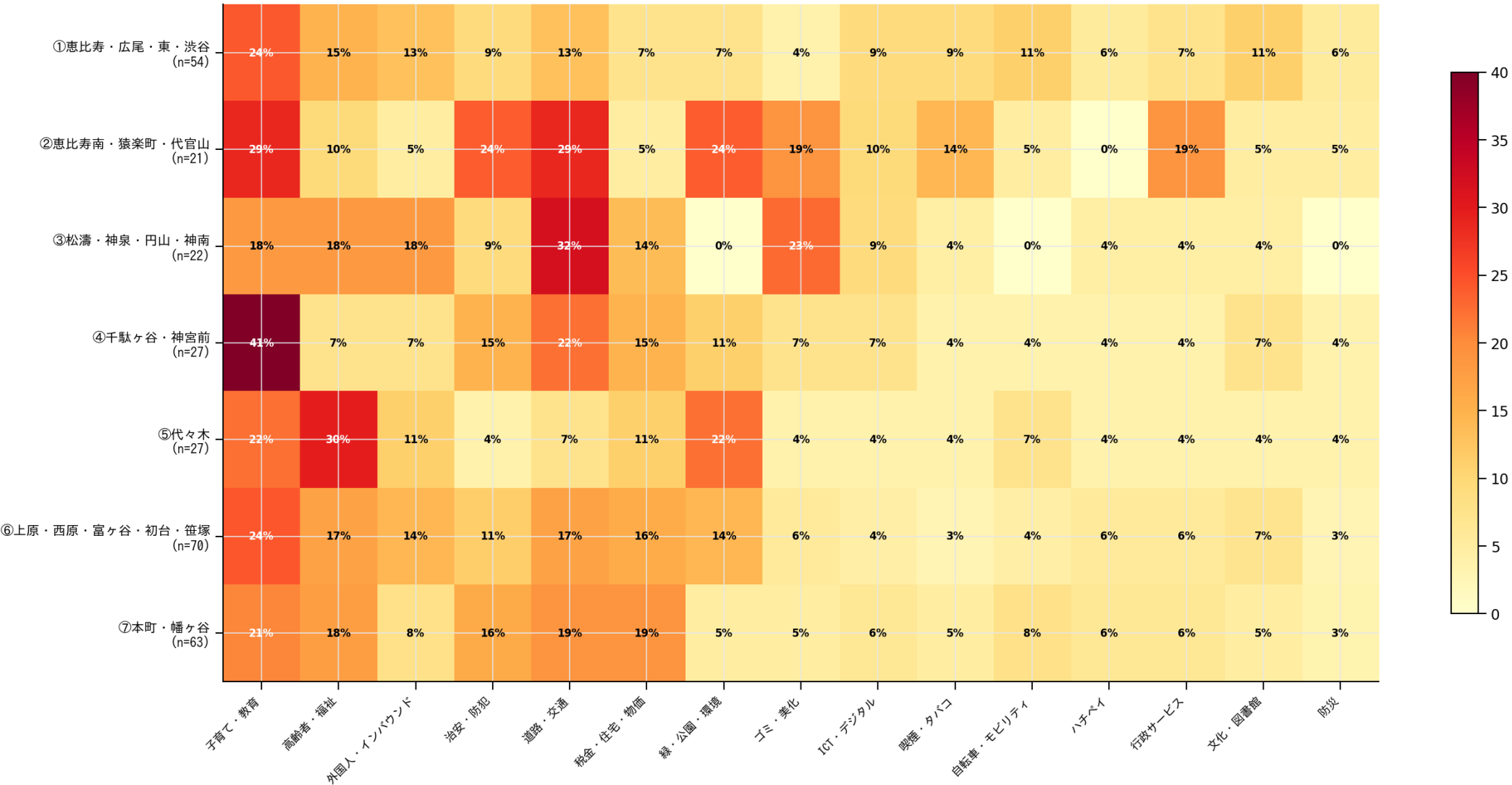
## 2. クロス分析

地区別・性年代別クロス集計

# 地区別 × テーマ 言及率 ヒートマップ

千駄ヶ谷・神宮前は子育て世帯の関心が高く（41%）、代々木は高齢者・福祉が最も多い（30%）です。  
その他、恵比寿南、松濤などの繁華街の近くは道路交通・ゴミ問題の言及が多いという特徴が見えます。

地区別 × テーマ 言及率 (%)



性年代別 × テーマ 言及率 (%)

